

## 先端医療研究開発機構 (iACT) 方針

### 【キーフレーズ】

Science・Finance & Human Resource: 研究活性化・財政自立化と人材力強化



### 【研究活性化】

高度な臨床研究・医療開発 → 独自の、包括的かつ出口を見据えた一貫通貫な臨床研究支援の実現

- 京都大学の強みを生かした研究開発の促進
  - ・再生医療、がん免疫療法などの新しい医療技術、高品質なバイオリソース、ゲノム医療、電子カルテなどのリアルワールドデータなどの活用による新たな研究領域の開拓
- 迅速な意思決定に基づく戦略的研究支援
  - ・実効力のある決定プロセスの迅速化
  - ・シーズ探索からシーズ育成、そして出口を見据えた臨床開発
- 産官学連携の強化
  - ・PMDA や各省庁との連携強化による国家戦略に即した戦略的研究開発
  - ・民間企業との連携強化によるビジネス的視点の育成

### 【財政自立化】

臨床研究支援の持続的運用 → 大きな研究資金・合理的な収入キャッシュフロー確立

- 時限的な公的研究費（交付金・外部競争的資金）依存からの脱却
  - 産学連携プロジェクト支援による効果的な民間資金獲得
- ※年度使い切りではなく大きな自己収入が見込める研究資金の獲得

- 限られたリソースを最大限に活用した財政的自立化基盤の構築
  - ・アカデミアの強みを生かし、後期開発支援から早期開発支援へシフトし、企業治験収入の増加を目指す
  - ・学内外シーズの効率的かつ戦略的な支援と成果からの収入の増加
  - ・企業シーズの積極的な誘致
- 外部への業務委託による固定費割合の低下と効果的な人材の活用
  - ・内部雇用 CRC による専門的支援の強化と SMO の活用

#### 【人材力強化】

**Science と finance のエコシステム → 高度な医療開発力の強化とサステナビリティ(持続可能性)確保**

- 実践型育成による人材強化
  - ・ Science に立脚した研究立案能力と finance を見据えた研究推進能力の育成
  - ・ 臨床開発・研究支援事業における OJT でのスキルアップ
  - ・ 自己啓発とリーダーシップ開発
  - ・ コンピテンシー評価
- 人類の健康と社会の発展に貢献可能な長期的な機能維持
  - ・ 実践型育成システム固定化による継続的人材確保
  - ・ 民間との人材交流・流動化
  - ・ 有期雇用職員の連携企業での雇用確保(スキルの高い人材の確保、個人の雇用継続)
  - ・ 臨床研究を牽引する人材の輩出